

長野県須坂市 古民家再生プロジェクト

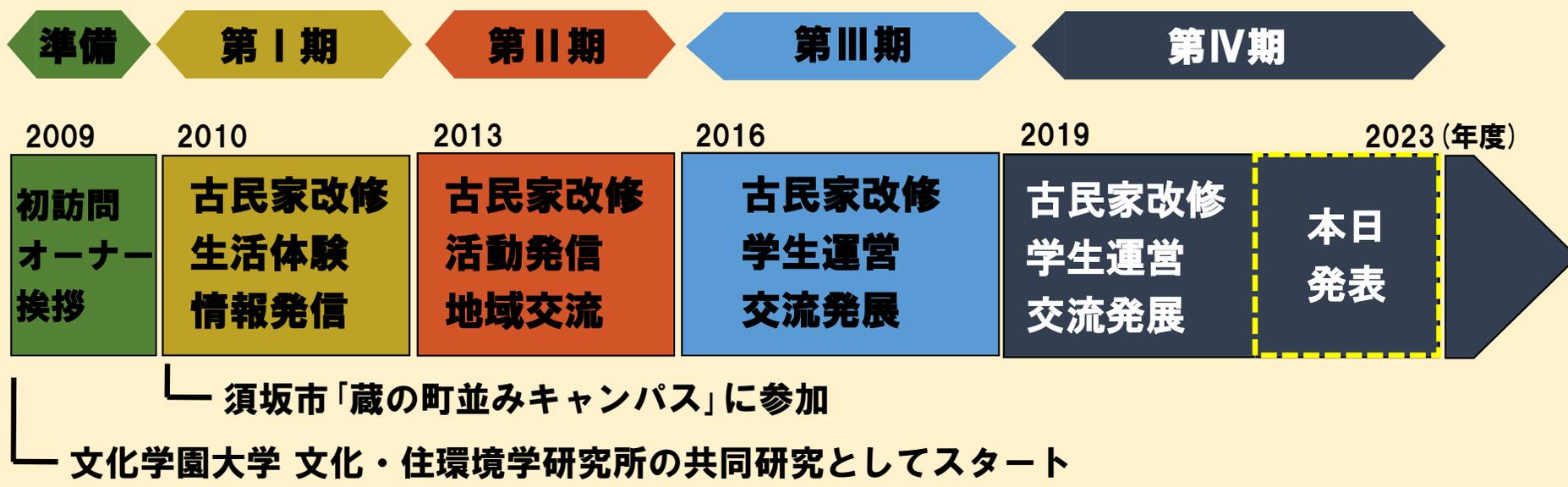
—令和5年度活動報告—



文化学園大学・東京工科大学

■活動概要

- ▶2009年度より、文化学園大学 文化・住環境学研究所の共同研究としてスタート
- ▶文化学園大学・東京工科大学の学生、教員が参加
- ▶数日間古民家に滞在し、ワークショップや改修作業の活動を行う



■ 目的

① 古民家の活用

伝統的生活や建築の理解

現代社会の適応への模索

② 様々な拠点づくり

産・学・官・民を結ぶ拠点

地域の人々を結ぶ拠点

都市と地方を結ぶ拠点

③ 新しいものづくり教育

地域の人々の交流

古民家での生活・再生体験から現代生活のあり方を考える

教育環境の多様化、ものづくりを学ぶ新しい場の可能性

■ 目的

2019年度の活動内容

「階段製作」

「地域交流：カフェ古民家 Z café 」

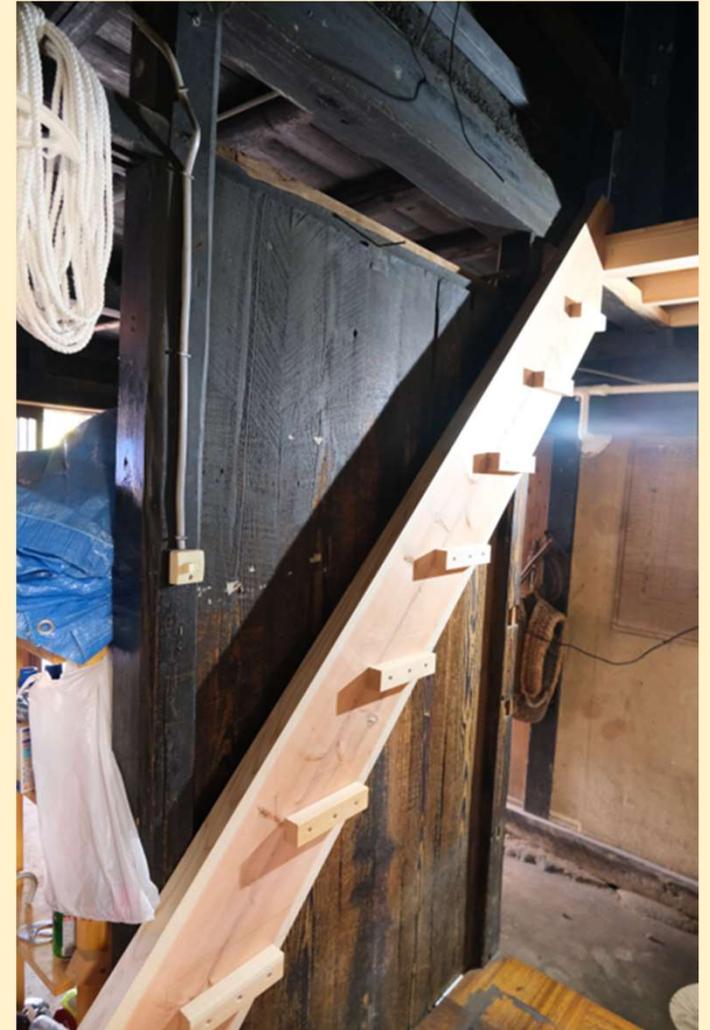
「ワークショップ：オリジナルノート作成」

「作品製作：椅子、食器、リネン類の製作」

「地域交流：神楽鑑賞&郷土料理」

■ 目的

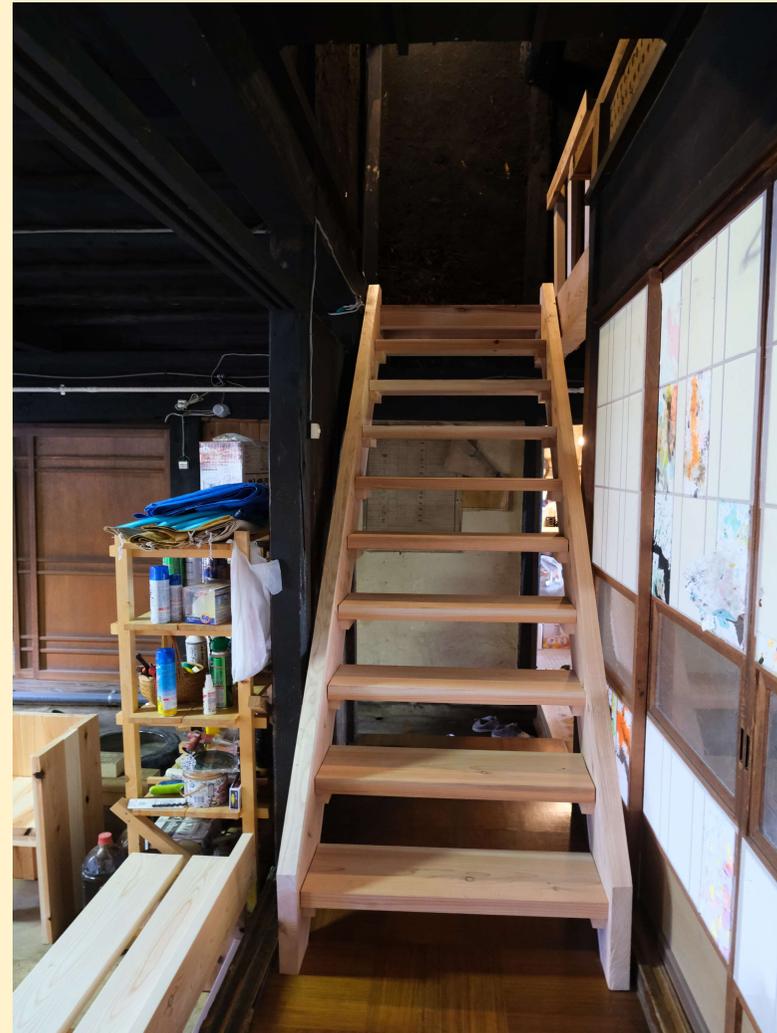
古民家改修：階段制作



※ささら桁

■ 目的

古民家改修：階段制作



■ 目的

地域交流：カフェ古民家 Z café



■ 目的

ワークショップ：オリジナルノート作成



■ 目的

カフェで使用する食器、リネン類の製作



■ 目的

地域交流企画1：郷土料理



■ 目的

地域交流企画2：御神楽の演奏披露



■ 目的

2023年度の活動内容

「古民家改修：縁側床の張り替え」

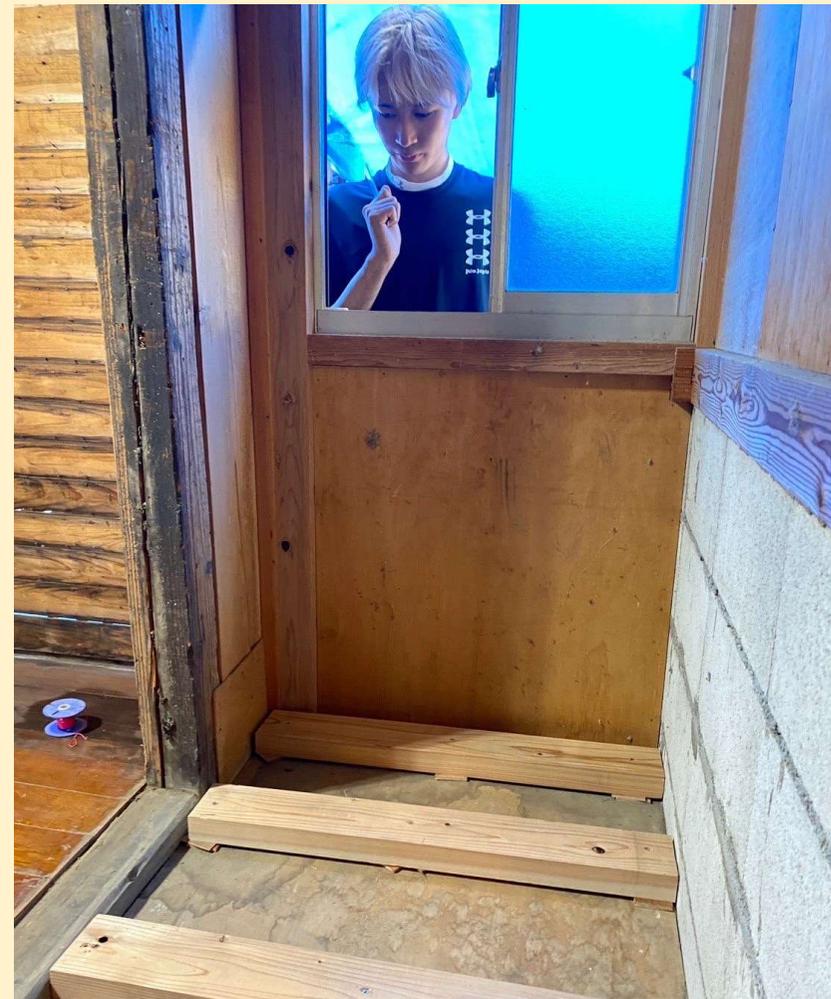
「作品制作：椅子の製作」

「地域交流：郷土料理」

「ワークショップ：タイダイTシャツの製作、古民家カフェ」

■2023年度の活動報告1

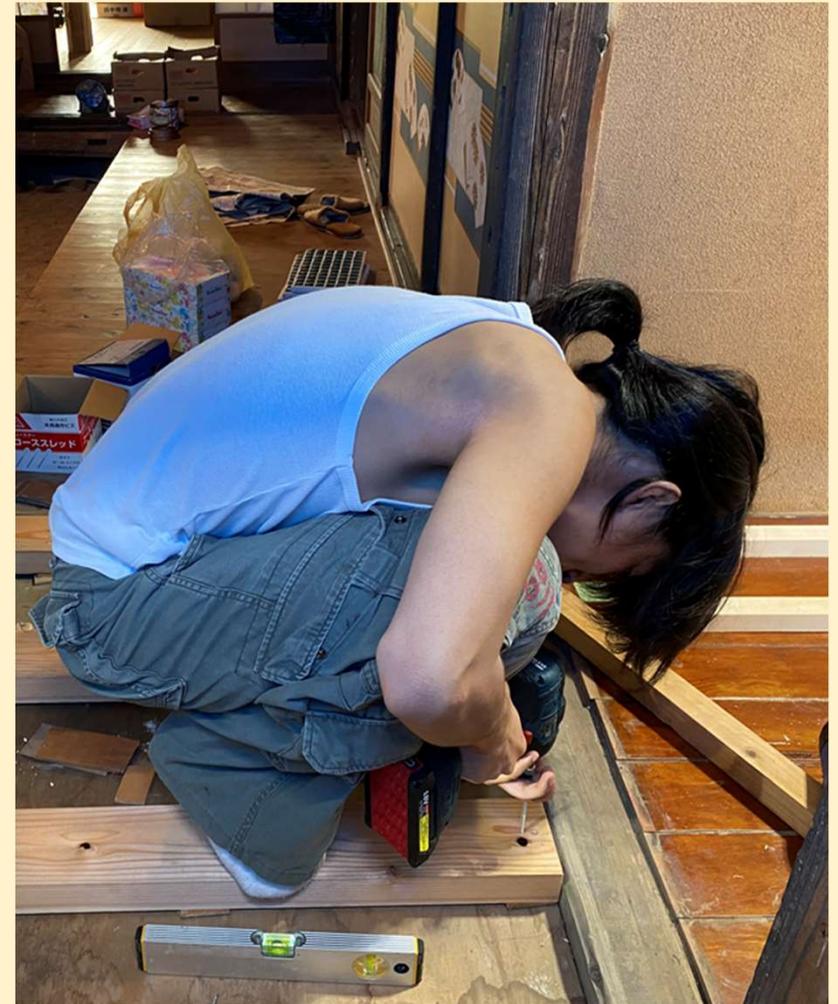
古民家改修：縁側床の張り替え



縁側の床の張り替えを行い、土間からのアクセスを良好に

■2023年度の活動報告1

古民家改修：縁側床の張り替え



垂直に真っ直ぐに正確に切ることは慣れていないと、とても難しです

■2023年度の活動報告1

古民家改修：縁側床の張り替え



踏み板の取り付けでは、
違和感がないように一つ一つ丁寧に取り付けました。

■2023年度の活動報告1

古民家改修：縁側床の張り替え

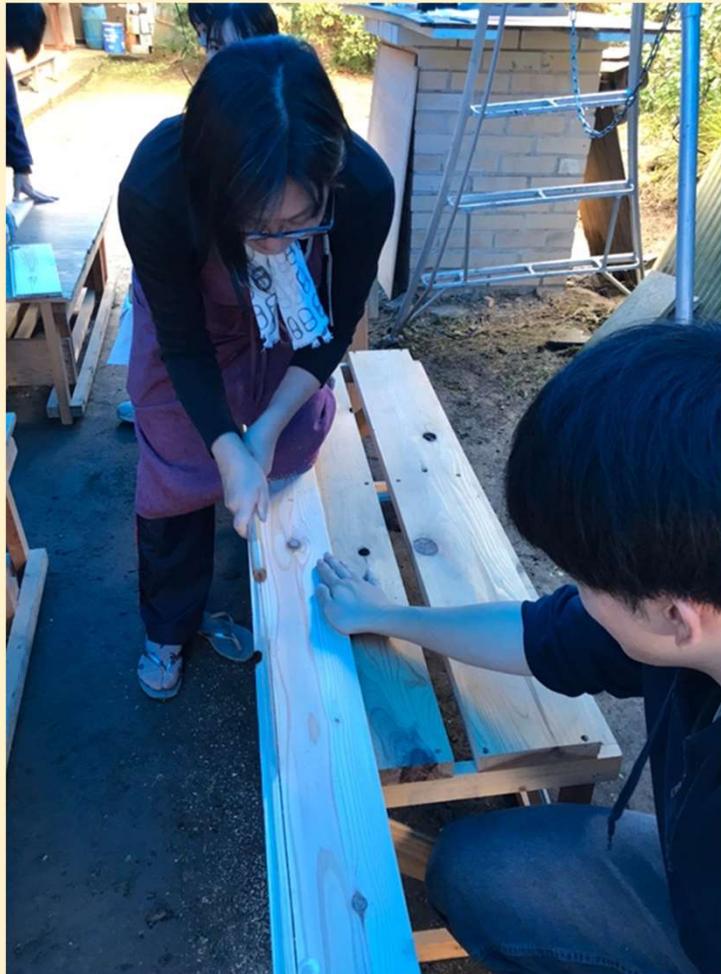


完成した写真

■2023年度の活動報告2

作品製作：椅子

ワークショップ、古民家カフェに使用する椅子の製作



■2023年度の活動報告2

作品製作：椅子



完成した写真

2023年度の活動報告3

地域交流：郷土料理



地元住民が代表的な郷土料理を振る舞って下さいました。

■2023年度の活動4

ワークショップ：タイダイTシャツの製作、古民家カフェ



自分でデザインを決め、好きな色を使いながら染色を行い自分だけのシャツを作る。

2023年度の活動4

ワークショップ：タイダイTシャツの製作、古民家カフェ



シャツをたたんだり、しわを寄せ模様のもとを作る。
ヒダやしわを輪ゴムやスズランテープで固定。

2023年度の活動4

ワークショップ：タイダイTシャツの製作、古民家カフェ



15分下浸け、染料を溶かし、染料を塗る(染める)
ビニール袋に入れ、その後すすぐ

■2023年度の活動4

ワークショップ：タイダイTシャツの製作、古民家カフェ



待ち時間には、コーヒーやお茶を飲んだり
靴ひもを染める人も

■2023年度の活動4

ワークショップ：タイダイTシャツの製作、古民家カフェ



その後乾かして完成です。

■成果

- I期は現地で滞在するための作業・食事・就寝空間の整備が主な活動内容であった。
- I期後半～II期に入ると基本整備が完了し、
地域住民とのワークショップや地域資源を活用した活動も増加した。
- III期はキッチン整備をし、古民家改修をさらに進めることで、
地域の活動拠点として活用することができるようになった。
活動を支援してくださる地域住民との輪が広がった。
- IV期は階段の設置や床を張り替えたことで古民家での活動スペースが広くなり、
これからの可能性を大きくし様々なアイデアが出て実現できることができます。

■須坂市古民家再生プロジェクト

①学生によるプロジェクトの運営

現時点では、基本企画については教員が実施

長期休暇中の有志による活動のため

学生を参加させることが難しい

学生主体のプロジェクトを実施するための組織作りが必要



■須坂市古民家再生プロジェクト

②ワークショップ実施内容の拡大

プロジェクトに参加する人が増加し、多様化することで
企画の多様化、拡大が図れる。

③多様な企画を可能にする活動拠点としての整備の継続

活動拠点としての更なる整備,拡充を計っていく

活動の場と就寝の場を分けることで,参加しやすい環境作り

ご清聴ありがとうございました。

文化学園大学・東京工科大学

